

院外洗濯業務特記仕様書

1 業務の場所

埼玉県北足立郡伊奈町大字小室780番地及び818番地

埼玉県立がんセンター（病院棟、研究棟）

※回収・納品の詳細については別紙3を参照

2 業務の内容

- (1) 受注者は、発注者所有の物品及びシーツやタオル類（別紙1参照）をがんセンター及び研究棟から受注者所有の洗濯施設に搬出し、洗濯、仕上げ及び補修を行い、がんセンター及び研究棟に搬入するものとする。その際、搬出前及び搬入後に各洗濯物の数量を数え、報告書として提出すること（別紙2参照）。

また、監督員の指定した箇所（以下「指定箇所」という。）へ洗濯物の回収・配達にまわり、仕分け整理を行うこと。（別紙3参照）

- (2) 受注者は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第1項の規定による一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症の患者の使用したシーツやタオル類並びに血痕、膿及び分泌物等の汚物が付着したシーツやタオル類（以下「感染性洗濯物」という。）の滅菌消毒及び汚物の除去処分を、がんセンター内にて行うものとする。なお、滅菌消毒は発注者が用意する熱水洗濯機を用いて行うものとする。

新型コロナウイルス感染症又は疑似症患者のシーツやタオル類の取扱いについては、令和2年4月24日付け厚生労働省医政局地域医療計画課事務連絡に基づき下記のいずれかの方法により洗濯するものとする。

イ シーツやタオル類を水溶性バッグに入れ、しっかりと口を締め、更にそれをビニール袋に入れ二重に密閉し、外側を500ppm以上の濃度の次亜塩素酸ナトリウムで清拭された状態の物を回収し洗濯するものとする。

ロ シーツやタオル類に500ppm以上の濃度の次亜塩素酸ナトリウムを近距离でまんべんなく吹き付けした上で、ビニール袋で二重に密閉し、外側を500ppm以上の濃度の次亜塩素酸ナトリウムで清拭された状態の物を回収し洗濯するものとする。

なお、未知のウイルス、感染症をはじめ、上記により難しい場合についても、別途協議するものとする。

- (3) 受注者は、患者私物洗濯物の洗濯・伝票整理を行うこと。

3 業務の手順

受注者は、次の手順に従い業務を行うこと。

- (1) 回収、員数確認

各病棟及び指定箇所へ洗濯物の回収にまわり、各箇所の容器から袋のまま取り出し回収、洗濯済の袋をつけてくること。また、ダーティリネン室及び感染リネン洗濯室

でその員数を確認、伝票に記入するものとする。

(2) 整理仕分、滅菌消毒及び院外搬出

指定箇所から回収した洗濯物をダーティリネン室及び感染リネン洗濯室にて整理仕分し、院外に搬出すること。なお、感染性洗濯物は搬出前に院内で滅菌消毒を行うこと。

(3) 洗濯及び仕上げ

受注者所有の洗濯施設にて洗濯、仕上げを行う。仕上がった洗濯物は、指定通りたたむこと。なお、修理を必要とするものは補修すること。

(4) 搬入及び配達

洗濯済の物品及びシーツやタオル類をがんセンター及び研究棟へ搬入し、指定箇所から回収した員数と突合し、整理すること。搬入後、指定箇所へ配達するものとする。なお、洗濯物を回収してから洗濯ののち搬入・配達するまでの期間は、回収日と配達日を含め原則5日以内とする。

(5) 集計表の作成

その日の業務終了後、集計表（発注者の認めた様式）に記入を行い当月分を翌月3日迄（休日の場合は以降の直近の平日）に発注者に提出するものとする。

(6) 個別洗濯物

個別洗濯物の依頼を受けた場合、依頼先の洗濯物を回収し、回収後は他の洗濯物と同様の手順で業務を行うこと。また、伝票の発行・整理を行うこと。

4 業務従事者名簿

受注者は、洗濯業務に従事する作業員の名簿を発注者に提出し、承認を受けなければならない。作業員を変更した場合も同様とする。

5 守秘義務

作業員は、職務上知り得た発注者の秘密については、他に漏らしてはならない。

6 負担区分

(1) 電力・給水・給湯等の費用及び滅菌消毒用設備の修理費用は、発注者の負担とする。

ただし、明らかに受注者に起因する洗濯設備等の不具合に関しては、受注者の負担とする。

(2) 搬入搬出場所までの往復に要する費用や業務に必要な資材、書類、伝票等は、受注者の負担とする。

(3) 各部署からダーティリネン室への回収用のカート、感染性洗濯物類等回収用のカート、各部署への洗濯済シーツやタオル類等納入用のカートは受注者の負担とする。回収用及び納入用のカートは、十分な数を用意すること。カートは消毒薬（アルコール・次亜塩素酸ナトリウム等）で清拭しても劣化しない物であって、ふたを閉じることができる物を準備すること。

(4) 新型コロナウイルスに感染する危険のある洗濯物を入れる水溶性ランドリーバックは、受注者の負担とする。

7 支払条件

発注者は、請求があった日から 30 日以内に、受注者に単価に実績を乗じた額並びに消費税及び地方消費税を支払うものとする。

8 注意事項

- (1) 洗剤は無りん洗剤を使用すること。
- (2) 漂白は白生地について使用し、生地傷みのないよう心がけること。
- (3) 洗濯傷みの物品は無償で補修すること。
- (4) 洗濯に使用する資材は、日本工業規格品又はこれと同等品以上とする。
- (5) 受注者は、平成 5 年 2 月 15 日付け指第 14 号厚生省健康対策局指導課長通知に定める衛生基準に従い洗濯物を適正に処理しなければならない。

9 作業員の配置

次のとおり回収・納入ができるよう作業員を配置すること。

- (1) 月曜日から土曜日まで（国民の祝日を除く。）午前 8 時 30 分から午後 5 時まで。
なお、日曜日、国民の祝日等により連続して 2 日以上続く場合があっても、2 日以上作業を行わない日がないこと。
- (2) 次の場合は午前 8 時 30 分から午後 3 時までの間に回収・納入業務を行うこと。ただし、年末年始等の回収・納品時間については協議によるものとする。
 - ・土曜日
 - ・日曜日、国民の祝日が連続して 2 日以上続く場合、その期間中に回収・納入業務を行う日。
 - ・12 月 29 日から 1 月 3 日まで

10 その他

- (1) 受注者は、洗濯業務に従事する作業員に名札を付けさせ、専用の作業服を着用させるなどして、部外者と誤認されないよう配慮すること。
- (2) 作業員の休憩等は、発注者の指定した場所において行うものとする。
- (3) 作業員の健康を保持するための B 型肝炎、流行性ウイルス疾患抗体価検査及びワクチン接種料は受注者の負担とする。
- (4) 作業服は毎日洗濯したものを着用すること。
- (5) ダーティリネン室、感染リネン洗濯室、クリーンリネン室、クリーンリネンカート置き場は常に清潔を維持し整理整頓に努めること。
- (6) 作業日報を作成後速やかに報告、提出する。

11 定めのない事項

この仕様書は、埼玉県立がんセンター院外洗濯業務の概要を示すものであって、ここに記載されていない細部の事項については、発注者と受注者で協議し決定する。